

学校調査

1 小学校

〔 - 1 - 1表〕

主要指標の推移

年 度	学 校 数		学 級 数		児 童 数		教 員 数 (本 務 者)		1 学 級 当 た り の		教員(本務者) 1人当たりの	
	対前年 増減数	対前年 増減率	対前年 増減数	対前年 増減率	対前年 増減数	対前年 増減率	対前年 増減数	対前年 増減率	児童数	対前年 増減数	児童数	対前年 増減数
	校	%	学級	%	人	%			人			
平成 1 0	1,060	1	16,868	1.6	497,863	2.0	24,547	1.2	29.5	0.1	20.3	0.2
1 1	1,059	1	16,749	0.7	490,741	1.4	24,120	1.7	29.3	0.2	20.3	0.1
1 2	1,058	1	16,553	1.2	484,963	1.2	23,815	1.3	29.3	0.0	20.4	0.0
1 3	1,058	-	16,553	-	484,045	0.2	23,785	0.1	29.2	0.1	20.4	0.0
1 4	1,056	2	16,681	0.8	484,928	0.2	24,070	1.2	29.1	0.2	20.1	0.2
国 立	3	-	54	-	2,102	1.0	72	1.4	38.9	0.4	29.2	0.1
公 立	1,038	2	16,418	0.8	475,636	0.2	23,681	1.2	29.0	0.2	20.1	0.2
私 立	15	-	209	0.9	7,190	0.1	317	0.9	34.4	0.3	22.7	0.2

(1) 学 校 数

ア 学校数は1,056校で、前年度より2校減少している。〔 -1-1表〕

イ 設置者別では、国立3校（構成比0.3%）、公立1,038校（同98.3%）、私立15校（同1.4%）である。〔 -1-1表〕

ウ 都道府県別では、北海道1,496校、東京都1,411校、大阪府1,056校の順に多く、鳥取県180校、佐賀県203校、香川県217校の順に少ない。〔付表-5〕

エ 市町村別では、大阪市312校、堺市91校、東大阪市55校の順に多く、田尻町1校、忠岡町・太子町2校の順に少ない。〔統計表1〕

(2) 学 級 数

ア 学級数は1万6681学級で、前年度より128学級増加している。〔 -1-1表〕

イ 設置者別では、国立54学級（構成比0.3%）、公立1万6418学級（同98.4%）、私立209学級（同1.3%）である。〔 -1-1表〕

ウ 学級編制方式別では、単式学級1万5113学級（構成比90.6%）、複式学級22学級（同0.1%）、75条の学級1,546学級（同9.3%）である。〔 -1-2表〕

エ 市町村別では、大阪市4,456学級、堺市1,491学級、東大阪市957学級の順に多く、田尻町14学級、千早赤阪村22学級、忠岡町33学級の順に少ない。なお、増減数では、大阪市33学級、堺市30学級、吹田市11学級の順に増加し、富田林市6学級、河内長野市・柏原市・摂津市3学級の順に減少している。〔統計表1・付表-7〕

〔 - 1 - 2表〕 学級編制方式別学級数・児童数

年 度	総 数		単 式 学 級		複 式 学 級		7 5 条の学級	
	学 級 数	児 童 数	学 級 数	児 童 数	学 級 数	児 童 数	学 級 数	児 童 数
	学級 人							
平成 1 0	16,868	497,863	15,485	492,845	21	172	1,362	4,846
1 1	16,749	490,741	15,320	485,641	21	185	1,408	4,915
1 2	16,553	484,963	15,119	479,560	19	154	1,415	5,249
1 3	16,553	484,045	15,073	478,370	18	141	1,462	5,534
1 4	16,681	484,928	15,113	478,795	22	189	1,546	5,944

(3) 児 童 数

ア 児童数は48万4928人で、前年度より883人(対前年度0.2%)増加している。22年ぶりに増加に転じている。

〔 -1-1表・ -1-4表・付表-1〕

イ 設置者別では、国立2,102人(構成比0.4%)、公立47万5636人(同98.1%)、私立7,190人(同1.5%)である。

〔 -1-3表〕

ウ 学級編制方式別では、単式学級47万8795人(構成比98.7%)、複式学級189人(同0.0%)、75条の学級5,944人(同1.2%)である。〔 -1-2表〕

エ 男女別では、男子24万8265人(構成比51.2%)、女子23万6663人(同48.8%)である。

〔 -1-3表〕

オ 都道府県別では、東京都56万912人、大阪府48万4928人、神奈川県46万3717人の順に多い。

〔付表-5〕

カ 市町村別では、大阪市12万6023人、堺市4万3966人、東大阪市2万8283人の順に多く、千早赤阪村322人、田尻町392人、岬町967人の順に少ない。なお、対前年増減数では、八尾市228人(対前年度1.5%)、堺市156人(同0.4%)、交野市152人(同3.1%)の順に増加している。

〔統計表2・付表-7〕

〔 - 1 - 4表〕 学 年 別 児 童 数 の 推 移

年 度	総 数	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
	人						
平成 1 0	497,863	81,167	80,444	80,582	84,078	84,422	87,170
1 1	490,741	81,819	80,770	80,147	80,179	83,691	84,135
1 2	484,963	80,097	81,439	80,329	79,823	79,844	83,431
1 3	484,045	84,179	79,759	80,997	80,028	79,501	79,581
1 4	484,928	81,706	83,873	79,327	80,873	79,817	79,332

キ 1学級当たりの児童数は29.1人で前年度より0.2人減少している。また、市町村別では、忠岡町31.4人、太子町31.3人、藤井寺市30.9人の順に多い。〔-1-1表・付表7〕
 ク 教員（本務者）1人当たりの児童数は20.1人で、市町村別では、太子町22.7人、泉大津市22.0人、熊取町21.8人の順に多い。

〔-1-1表・付表-7〕

ケ 帰国子女数は249人である。〔-1-5表〕

コ 外国人児童数は7,137人である。

〔-1-6表〕

〔-1-5表〕 帰国子女数

年度間	総数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全国総数
平成13	249	35	42	46	39	48	39	6,487

〔-1-6表〕 外国人児童数

年度	総数	国立	公立	私立
平成14	7,137	33	6,807	297

(4) 長期欠席者数（平成13年度間）

30日以上長期欠席者数は7,040人で、前年度間より5人（対前年度間0.1%）増加している。理由別では、病気3,942人（構成比56.0%）、経済的理由6人（同0.1%）、不登校1,829人（同26.0%）、その他1,263人（同17.9%）である。

長期欠席者数が全児童数に占める割合は1.45%で、前年度間と同率である。全国平均は1.06%で、大阪府が0.39ポイント上回っている。〔-1-7表・付表-2〕

〔-1-7表〕 理由別長期欠席者数の推移

年度間	総数	全児童数に占める長期欠席者率	欠席理由			
			病気	経済的理由	不登校	その他
	人	%	人			
平成9	6,681	1.32	4,041	17	1,220	1,403
	(3,224)	(0.63)	(1,347)	(13)	(998)	(866)
10	6,904	1.39	4,199	12	1,472	1,221
	(3,268)	(0.66)	(1,360)	(8)	(1,182)	(718)
11	6,664	1.36	3,802	8	1,745	1,109
12	7,035	1.45	4,025	5	1,839	1,166
13	7,040	1.45	3,942	6	1,829	1,263

(注1) 上段は30日以上長期欠席者数、()内は50日以上長期欠席者数である。

(注2) 平成11年度間からは「50日以上」の調査がなくなり、「30日以上」のみとなっている。

(5) 教員数（本務者）

ア 教員数（本務者）は2万4070人で、前年度より285人（対前年度1.2%）増加し、21年ぶりに増加に転じた。〔-1-1表・付表-1〕

イ 設置者別では、国立72人（構成比0.3%）、公立2万3681人（同98.4%）、私立317人（同1.3%）である。〔-1-1表〕

ウ 男女別では、男子7,516人（構成比31.2%）、女子1万6554人（同68.8%）である。〔統計表5〕